かなだ

第106号
金田町報
発行所　金田町中央公民館
編集兼発行人　原田豊茂
印刷所　九州機関紙印刷所
電話　093 ㊾ 4461

金田町人の動き

S、45年8月31日現在

世帯数	2,164	
人口	8,891	
男	4,308	+21
女	4,583	+26
転入	63人	男32女31
転出	16人	男10女6
生		男1女2
死亡		男0女3

教育長再任の挨拶

教育長　島津幸平

私の任期が九月三十日でありましたので、九月二十五日招集の第六回定例町議会において、本町教育委員に選任され、翌二十六日の教育委員会で、教育長に互選されましたので、県教委に承認方を申請し、十月一日付を以て教育長に再任致しました。

顧みますれば、四十一年十月以来四ケ年、教育行政に経験のない私が、県下においても最も組合斗争の激烈な本郡において勤務させていただきましたことは、町行政機関・町議会・町民各位の御指導と御援助によるものと、深く感銘致しております。

昨年十一月十三日福教組は、安保反対・沖縄即時全面返還・人事院勧告の完全実施等の目標貫徹のスローガンの下に、ストによる実力行使をなし、金田町を重点地区として、県下の各教組・地区労等、各単産の支援団体七百余名を動員し、デモ行進を行ない、圧力をかけましたことは皆様御承知の通りであります。

福教組は、県教委より地方公務員法違反によるスト参加者一万四千五百名に及ぶ大量処分をうけましたので、その後は、現場の校長に対し、無言斗争・非協力斗争を行ない、校長・教頭の管理職を現場より遊離させ、有名無実のものとして管理職をボイコットし、分会会議を学校の最高決議機関として認める迄は、この斗争を継続することを決議し、学校を組合管理の下に運営することを企図しております。

郡教組は、組合教研の名のもとに、組合活動を公然と行ない、校長の権限を無視し組合教研優先で自習を強い、そのため校長の命ずる補欠授業に配当せる教師も、校長の命令を拒否する等、実に学校の現場が混乱状態にあるのが近時の現状であります。

この斗争継続による学校内の混乱で、児童生徒に及ぼす下剋上の風潮は、父母や、社会の指導者、先輩の言を聞かず非行につながり、人間形成の重要時期にある子供の精神的影響、延いては、学力の低下が現実に現われております。進学・就職等、子供の将来を考える時、教育の危機が到来している感を深くしております。

また四十六年度より県が実施する、小・中学校長採用選考試験に受験せんとする教頭に対し、願書提出期限十一月十四日に、願書を提出せず、受験をしないよう各分会は、教頭交渉を強力に行なっております。

わが国においては、国家・地方一般公務員は、何れの職域を問わず、試験制度が実施せられており、人はその能力に応じ、栄達昇進を志すのは自然の理であり、本性であります。受験の意志は教頭各人の私権に属する問題であり、これを組合の圧力により教頭の意志を歪めることは、許す可からざる人権侵害であり、いやしくも民主教育を使命とする教師が、独裁主義国家にもあるまじき行為をなすことは、許されざる反社会性を包蔵していると考えざるを得ません。

依って各地教委は十月二十六日、教組支部より要求の、一日間臨時休業の教研集会申出は不許可とし、一斉年休を請求の場合は、授業抛棄ストとみなし、職務命令を以って平常業務に従事するよう、校長に指達しております。事後の組合教研は組合活動とみなし、組合活動に参加する違反者は、教育委員会に具申することを、指示通達の考えであります。

また、学校管理規則を近く改正し、校長の学校管理運営の権限を明確にし、両々相持って学校正常化を実施します。

今後は町民の皆様方も、学校経営の状態や、御子弟の学習進度等につき、十分の注視をいただきますよう、お願いして私の御挨拶と致します。

（十月二十四日稿）

机上の白菊に想う

町長　大島六郎

菊の花が薫る季節となりました。今では菊は年中を通じて咲いていますが、やっぱり季節の花には及びません

四囲の山々は色どり美しい自然の趣、毎年のことながら迎える人びとは新しい感興にそそられます。やがて稲のとり入れが終わると、こんどは吹きすさぶ木枯に見渡す限り粛条の自然が訪れます。年の瀬をまえに、寒さにふるえながら早くも陽春の光りを待ちこがれます。

春は一瞬、いやな夏は永く、秋はまた短く、冬は長い気持で過ごします。

いい季は短く、悪い季は長い。そのように感じとるのは人間本来の受け取り方でしょう。

人間の本性はかくも身勝手なものです。自分に都合のよいときは悪人も、善人に受け取り、そうでないときは善人も悪人にでっち上げて自分の身勝手を正当化します。強い者や金持ち、そうした方々の主張は御無理ごもっともで世の中をまかり通すが、いざ弱い者や貧乏人の意見や提案は、何かと故障が飛び出します。なさけない世の中です。

季節の恵みで開く白菊、見るからに延びのびと屈託なく、清楚（きよらかでさっぱりしている）な花の心、馥郁（よい匂いがする）とゆかしい花の姿、これこそ私たち人間たちに、いろいろな教えを垂れているものと思われます。

花の命は短くて　苦しきことのみ多かりき

林先生は書いていますが、「花の命は短くて、教えることの多かりき」と私たちは学びたいと思います。

（二ページより続く）

国民年金に加入するには、役場年金係に届け出るだけですむのです。面倒くさがったりして、加入洩れにならないようくれぐれも注意して下さい。

他の年金制度を脱退した場合にも、年金制度に切れ目をつくらないよう、すぐ国民年金に加入の届を出しましょう。関係者の協力と被保険者の保険料納付で国民年金制度をさらに大きく育てていこうではありませんか。

嫁姑関係

青少年問題協議会

(10)

子どもの心理

「自分をかわいがってくれる母と、自分の大好きな祖母とが仲悪く、時には口きたなくののしり合いさえもする。時には自分を味方にしようとして、とり合いさえすることがある。自分は一体どちらについたらよいのだろうか。祖母の言いなりになれば、母に不義理をすることになり、母の言いなりになれば、いつもいろいろな物をくれる祖母に不義理をすることになる。その上、祖母も、母もいつも人とは喧嘩するなといっているのに、母と祖母のそれは喧嘩というものではないのだろうか。

祖母と母の喧嘩には、はなばなしいのから、お互いに言葉を交わそうとしないばかりでなく、顔を合わそうとさえしない陰気なのまである。いずれにしても、祖母と母とがいがみ合っている時は、家の中に明るさというものがなく、勉強しようと思っても恐ろしさの余り手がふるえてしまったり、また早く仲直りしてくれないだろうかという気持でいっぱいになってしまって、勉強どころではなくなってしまう。だからテストの前の日などに、母と祖母の衝突があった時などは、テストの成績は目に見えて悪い。テストの成績が悪いと母からお小言を食うが、祖母と母とが仲良くさえしてくれたらと思う。

母と祖母が口きたなくののしり合っている時など、自分としてどうすることもできないが、ただそんなに相手が憎いのなら、思いきって何とかしたらいいではないか、と思うことさえある。朝からやり合っている時などは、学校に行っても何となく気分は重く、学校の授業が終って、家に帰らなければならない時間になっても、友達は喜び、足取りも軽く帰って行くのに、自分は家になど帰りたくない。友達の顔はどの顔を見ても、祖母と母とが仲良く家の中は平和そのもの、楽しさと、明るさに満ち満ちているように見える。うらやましい限りだ。時には人のだれもいない山の中か、絶海の孤島で、ひとりぼっちの生活をしてみたいと思うこともあるし、時には何となく胸の中が、むしゃくしゃしてきて、その辺にあるものを手当り次第にたたきこわしてしまいたい、または火をつけて燃やしてしまいたいような衝動にかられる時もある」

これは数人のある中学生の手記を一つにまとめて書いたものですが、こういうのが、嫁と姑とがいがみあっている家庭の子どもの心理です。とにかく自分達は喧嘩していながら、子どもにだけは良い子になれ、よい成績を取れといっても、それは大変無理な話です。わたくしどもは自分の住んでいる場所の状況と無関係に生きていくということは不可能なのですから。特に子どもは感覚が鋭敏です。

伸びゆく国民年金

～年金だより～

福祉課

国民年金は、皆んなの年金です。現在サラリーマンの人達は、厚生年金保険や各種の共済組合などに加入しているでしょうが、会社や工場をやめたときには、この国民年金に加入することになります。国民年金は、私達の老後を守ってくれます。国民年金では、他の年金制度に加入していない二十才から、五九才までの人を加入対象者としています。また、厚生年金や船員保険に加入している人達の配偶者が希望すれば、国民年金に加入できることになっています。

国民年金に加入すると、毎月保険料をかけなければなりませんが、保険料は、誰れでも一と月四五〇円となっています。所得のある人は、所得比例保険料三五〇円を別にかけることができます。

最近の金田町の収納成績は、約九六％となっています。また、国民年金には、加入者が経済的に保険料をかけられないような場合には、これを免除する制度があります。

生活援助を受けている人、障害年金を受けている人、母子福祉年金を受けている人、所得がなくて保険料をかけられない人などは、保険料が免除されます。保険料をかけられないといって、そのまま滞納していると、年金がうけられません。どうしても保険料をかけられないときは、免除をうけておき、余裕ができたとき納めるようにしましょう。

拠出制国民年金の給付は、老令年金、通算老令年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金及び寡婦年金の七つの年金と死亡一時金があります。国民年金に加入しておれば、これらの年金のうちどれかをうける事故がおきたときすぐその支給がうけられます。一つの事故でいくつもの年金がうけられるような場合には、本人の希望で一番有利なもの一つをうけて下さい。

このように、わが国でも年金時代が到来しました。これからの生活は、年金なしには考えられません。特に、制度が発足してから一〇年で多くの年金受給者が出る（明治三十九年四月二日～明治四十四年四月一日生れの高令任意加入者）国民年金は、国民になくてはならない年金制度となっています。（一ページへ）

郵便局だより

金田郵便局

本年は住みよい社会をつくる郵便貯金増強運動と期間中住民の皆様には大変御協力をいただき厚くお礼を申上げます。簡易保険は大正五年国営保険として誕生し国民の暮しを守り続けて五十四年「郵便局の簡易保険」として愛され親しまれ現在では総加入件数四四〇〇万件、契約高九兆円を超えるマンモス事業となっています。またこの契約から生づる年間収入（保険料収入、運用収入、雑収入）から支出（保険金支払、配当金支払、運営費）を除いた差引過剰額は保険金や配当金の支払準備金として積立られ簡保資金とよばれ今では積り積って二兆二千億円を越え、都道府県町村などの地方公共団体や公社、公団、公庫等の政府機関に貸出されています。そうして住宅、学校、道路、交通などわれわれの身近かな生活環境の整備充実に役立っています。

このほか簡易保険では加入者への直接サービスとして、加入者老人ホーム、保養センター、診療所等の福祉施設を設けていますので加入者福祉の向上に大きく役立つものと期待されます。

なお国民の健康増進の分野で親しまれている、「ラジオ体操」も簡保事業の一翼を担っています。このように簡易保険は今後更に国営保険としての使命達成に徹し、一層の普及をはかる努力を続けておりますので皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

加入者老人ホーム　別府

簡易保険保養センター（九州・山口地方）

柳川。武雄。島原。山鹿。日南。指宿。湯田。福岡。熊本。鹿児島

局に備え付けの用紙におて申込み下さい。

敬老会に於ける島津教育長の祝辞

教育委員会

皆さん、敬老の日を迎えられお芽出度うございます。

本年の適令者は明治三三年九月一五日以前に出生されました方で、該当者は三六一名であります。

年々国民の平均寿命は伸長し、本年八月厚生省の発表ではわが国の平均寿命は、男子は六九、一八才、女子は七四、六七才であります。

世界第一級の長寿国である「スウェーデン」「オランダ」「ノルウェー」の北欧諸国に比べますと、男子で二才、女子で一才余の遅れがありますが、米英仏などの先進国とは同一水準に達しました。人生五〇年といわれたわが国がこの二〇余年間に世界の水準に到達しましたことは、今昔の感を深くし誠に喜びに堪えません。

国民の平均寿命は食生活の向上と、医薬の進歩などにより、今後も年々延びて二〇年後の昭和六五年には、平均寿命が八〇才になると考えられております。

現在全国に六五才以上の老人が六三二万で七、九パーセントですが、厚生省の推計によると二〇年後は六五才以上の老人の総人口は全人口の一二、七パーセント一、五三〇万人になると予想されており、老人の福利更生対策即ち年金制度の充実、老人の健康保障、老人向住宅の建設、老人ホームの完備、定年制の延長、高令者労働力の活用等の問題は国家が緊急に取組まねばならぬ重要問題であります。

皆さん方は明治大正昭和の三代にわたり、金田町や日本国家と命運を共にして、国家の進展や、個々の御家庭の重責を荷って家業に精励し、御子弟を教育され、困難に堪え辛労を重ねられこの激動した世の荒波を乗り切って今日の生活を確立されました。心から感謝と敬意を表します。

国は昭和三八年八月老人福祉法を制定施行して、皆さんの功績に対し敬意を表すると共に、安らかな老後を保障することを国及び地方公共団体の責任において実施するよう義務づけをしております。本日町主催の敬老会もこの主旨に即した行事の一端であります。老人福祉施策は行政面、経済面に除々に充実せられておりますが行政・経済面では解決せられぬ今一つの面である精神面の対策―老人の共通して持たれている生活における堪え難い空虚と孤独感からいかに老人をお守りして、豊かな楽しい張りのある生活を送って頂くかは政府や国民総てが考えねばならぬ差迫っている問題であります。

人は生を享けている限りなんらかの形において家族や地域社会に対し、自己の有する能力や経験を生かし寄与したいという考えを持っているのが人間の本能であります。これをただ考え方が旧式だからとか、老令だからという理由で抑止、封鎖されましたならば、その結果は空虚と孤独感に堪えられず憂慮すべき事態を招来することになるのは先進国スウェーデンの悩みであります。急速に核家族化の傾向にあるわが国も他山の石として看過することの出来ない問題であります。

英国の名宰相であったチャーチルは「老人の福祉制度がどのように充実整備されているかが文化国家の尺度である」といっております。わが国も憲法前文に明示されている文化国家となる為には、老人が健全で安らかな生活を送られるよう施策を講じなければ、政府が国民総生産が自由主義国家の中で第二位であることを誇示しても、世界から文化国家としては認められないでありましょう。国の急速なる手厚い施策を要望するものであります。特に私達社会教育担当者の使命は今後益々重要性を持つものであることを深く痛感しております。

何卒何日までも健康にして長寿であられますよう念願して私の祝辞と致します。

読書グループを つくりましょう

中央公民館

「読書は孤独なものである」と、言われます。しかし、活字にしたしめず、読書になれないため、ひとりでは読みずらかったり、根気が続かなかったりする場合でも、グループを作って励まし合って読めば、楽しいうちに読書の力もつき、読書の習慣もできるものです。

グループでお互いに話し合っていると、自分ひとりでは、気付かなかったことや、別の考え方があることを、教えられたり、発見したりするものです。

読書グループと言えば、ひじょうに、固苦しいもののような感じがしますが、しかし、県内にある読書グループの発生までの状況をみますと、

○ 隣近所の主婦の方たちが、お茶を飲む時間に、テレビ映画のお話が出て、原作を読んでみようかというお話がまとまり、それがきっかけで、次は何の図書を読みましょうということで自然にグループができた。

○ PTAの会合で、子供のしつけの問題がでて、みんなで本を読んでみようという話がまとまった。

○ 通勤者が、汽車通勤の往復時間を読書でということで、同好者をさそって、小さなグループができた。

○ ある女子青年が、自分一人の読書を、家族ぐるみの読書に切り替えて、隣近所に広めていった。

○ アパート住いの六世帯が、公民館の図書を利用して、廻し読みをする。

など、ごく身近かの人々が、ちょっとしたきっかけから、わずかの時間を利用して、本を読み始めてできたグループが多いようです。

これらのグループは、図書を自分たちで購入するのではなくて、図書館や、公民館の図書を利用しています。

最近、諸物価の値上りと共に、図書もずい分高価になりましたが、公共の図書を利用すれば、費用をかけずに、自分たちの求める図書を、数多く読むことができるのです。

お知らせ

田川電報電話局

あなたの会社で電話教室を

内容

(1)模擬電話機セットを利用して「電話のかけかた実技の演習」（60分）

(2)映画「ビジネスと電話」（30分）

所要時間　1時間30分

実施日時　ご希望の日時を申込んでください。

申込先

田川市千代町

田川電報電話局自動運用課

電話　09474～2～4216

「電話のかけ方」の案内

2、田川（09474）2～0000番で、電話の「利用案内」をしております。無料ですからお聞きください。

老後の人間関係（7）

中央公民館

老人の経験に学ぶ心

世の中が現在のように科学化されない時代には、経験というものがいちばん大切でした。種籾はいつごろ冷せばいいとか、大根の種はいつごろまけばいいとか、あの山に雲がかかれば雨が降るとか、農業でも、商工業でも、すべて老人の経験が土台でした。しかし現世では、夜に日をついで新しい発明や発見が行われるようになり、老人のもっている素朴な経験などは、しだいに陰が薄くなりました。

しかし何といっても、老人は長い人生の経験をもっているのですから、その越えてきた人生の山ひだには、宝石のような尊いものが埋れているのです。

われわれは謙虚に、その老人の経験に学ぶという態度を忘れてはいけないと思うのです。新しい思想や、新しい技術はよく考えてみると、みな古い経験から発展したものなのです。

「温故知新」ということがいわれますが、新しいものを求めるためには、古い知識が必要なのです。

老人に生きる希望と喜びを

人間の寿命がどんなに延びたといっても、喜びと希望のない人生は砂漠のようなものです。喜びとは経済生活が保障され、心身ともに健康であり、人間関係においてもこだわりがなく、そしてそれぞれの能力に相応した役割りが果されている姿です。希望とは、日々の生活が希望につながっているということです。

ある一人の老人が柿の接木をしていました。通りかかった一人の男が「あなたは柿の接木を一生懸命にやってござるが、あなたは、まだそのうえ生きながらえて、接木になった柿の実を食いなさる気か。年はいくらとっても、人間というものは欲から離れることはできないものかね」とあざ笑うようにいいました。

老人は静かにいいました。「なるほどお前さんのいうとおり、人間は欲から離れることはできないものだ。しかしなあ、わしはこの柿の実を食って死のうとは思わないんだ。実のなった姿をみて、またその実を食って死ぬるのはありがたいことだが、わしはもう明日にも知れない命なんだ。わしは食わんでもいい。やがて大きな実がなり、子供や孫たちが甘いなあと喜んで食うてくれる。そう思うてな、そのときの光景を瞼に描いてみると、今は柿の接木をしているが、とても楽しいんじゃよ」といったという話があります。自分の将来のためではない。家族の、いや社会の、明るい先きの姿に希望をもたせるように、家族の者が協力することが大切です。

老境とはまさに落日の美観です。陽は西山に落ちんとして、いまだ落ちず、あたりは広く夕映雲にはえわたり、いかにも明日の好天を約束するかのように金色に輝いて、静かに静かに山の端に、沈んでいく、それにも似たものです。

時代が変っても

時代が変って親と子が同じ屋根の下に住まないようなことになったとしても、親子としての愛情は、必ずほしいにちがいありません。たとえ別々な家に住んでも、できることなら「みそ汁」のさめない距離にと親も子も思い、いつもいったりきたりして、慰めたり慰められたりしたいものです。（おわり）

お茶の間メモ

NHK

〝まめで暮らす〟とは、まめまめしく達者で暮らすという意味で、栄養のある豆を食べることは、健康に連なるというところから出た言葉のようです。

四月に出始める新そら豆から、十二月の小豆、大豆類、白いんげんにいたるまで、次つぎつぎと出回る豆を利用して、私たちの祖母や母たちは、身の養いとしての豆料理を大事に受けついで、じょうずに扱うことを伝えてきました。

「豆料理」

ところが、昨今は即席ばやりの気ぜわしい世の中になりましたが、やはり、コトコト煮込む丹念な日本の味はまた格別なものです。

新築、敬老、その他いろいろのお祝事に赤飯はつきものです。世の中が便利になって、店に注文すれば配達してくれるし、ひと足出れば三六五日赤飯の折り詰めを売っている時代となって、おこわを蒸したり、煮しめを作るなど、家庭の仕事でなくなったようです。

NHKでは「豆料理」を特集で十一月二十三日から二十八日までの六日間、総合テレビ＝＜きょうの料理＞（9・40～10・00、再放送午後3・40～4・00）で放送します。

十一月二十三日（月曜）放送

―したき・おこわ・ほか―

出産、入学、卒業、結婚しかし、世の中が忙がしく移り変わっても、やはり、身内の祝事に作る手作りのお赤飯には、味プラス何かがあるのではないでしょうか。

十一月二十四日（火曜）放送

―大豆とこんぶの煮合わせ・ほか―

大豆は質のよいものを選ぶことが大事です。丸くてつやのあるものが良質です。大小入り混じっているもの、見るからに固そうなもの。いろいろあります。その判別は一度や二度でできるものではありませんが、煮てみて、食べてみて、はじめてわかるものです。

十一月二十五日（水曜）放送

―赤えんどう・ほか―

赤えんどうはゆでて、黒みをかけていただくだけで子どものよいおやつになります。少し季節はずれではありますが、みつ豆も捨てがたい魅力です。ひやりと冷たく、プルプル震える寒天に、つぶろなえんどうのほのかな塩味、とろりとした黒みつの香り、三味一体をスプーンで口に含んだ最初の瞬間がまたたまらないおいしさです。

十一月二十六日（木曜）放送

―あんの作り方―

日本の生菓子の土台は小豆あんが大きな部分を占めています。ほかに白あん、芋あん、百合根あんなどがありますが、小豆あんの作り方がわかれば、ほかのあんはそれに準じてできるはずです。

十一月二十七日（金曜）放送

―おはぎ・ほか―

おはぎのあんをつくるには、「つぶしあん」、「おぐらあん」、「塩あん」の三種類があり、その他にきなこのおはぎ、ごまのおはぎがあります。

おたふくかぜ

中央公民館

おたふくのような顔になるので、別名「おたふくかぜ」とよばれています。

正しくは、流行性耳下線炎といって、耳たぶのつけ根を中心に円をかいたように、ふくれます。はれは、三日ほどで頂点にたっし、しだいにひいていきます。これといった特効薬がないので、痛みが強い場合、鎮静剤をもちいるか、またはオリブ油やワセリンをあためて患部にぬると、痛みはずっとらくになります。